

第33回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	内容	回答	回答希望
1		森林の産業の面と保全の面をどのようにバランスをとるのが、どう県民へ伝えるのか。	<p>水源環境保全・再生施策は、かながわ水源環境保全・再生施策大綱に基づき実施しております。この大綱において、森林の保全・再生の施策展開の方向性は、ダムや地下水などの水道水源の上流部に位置する森林など、水源かん養などの公益上重要な森林については、公的管理・支援の取組を一層推進し、公益的機能の発揮を重視した森林の保全・整備を計画的に推進します。森林資源として活用可能な森林にあつては、木材の有効利用を促進しながら、持続的な森林の管理を進めていくこととしています。</p> <p>公的管理とは、県が森林を借地したり、買い入れて、人工林であれば広葉樹が混生する森林を目標にするなど、より公益的機能の高い森林を目標にした整備をするものです。</p> <p>また、公的支援とは、森林資源として活用可能な森林等について、間伐材の有効利用を図りながら、林内を明るくすることにより下草が生え公益的機能が維持された森林を目標にした整備を、森林所有者自ら実施したり、森林所有者が森林組合に預けて実施する場合に、その経費の一部を助成するものです。</p> <p>こうした公的支援は、産業振興を目的とした支援ではありませんが、ご質問の「産業の面」に着目した取組となっています。</p> <p>水源の森林づくり事業など森林関係施策については、これまでモリーフレットの配布や県ホームページへの掲載、県民フォーラムなどのイベントを通じて広報を行ってまいりましたが、今後も引き続き、様々な機会を通じて広報に努めてまいります。</p>	
2		先日、早川の漁業組合長さんのお話でこの10年間で早川の水量が減少しているというお話がありました。箱根の山が温暖化や森林の利用の減少による総材積量の増加、雨水の蒸散量の増加によって土壌に浸透する水量が減っているのではないかと心配しています。箱根や丹沢から流下する水の量の変化はその様な影響はありますか？台ヶ岳のマツノハマンネングサも20年前はあったのに(今年の夏)先日は1個体も見つけることができないと植物の専門家が言っていました。山の乾燥化を心配していますがいかがでしょうか？	ご指摘のような河川水量の長期的な変動とその要因については、水源環境保全・再生施策に関するモニタリングでは現時点では把握しておりません。山の乾燥化に関しても、丹沢の稜線部の風衝地といった一部の箇所では近年の暖冬・少雪化やシカの影響による林床植生の退行などから、その可能性が考えられているものの、広域的な山の乾燥化については現時点でははっきりとした見解は得られておりません。	
3	森林関係	相模原市も広く、津久井の方まで相模原市になっているが津久井は県の管理という事で、そこでの活動ができず、16号線沿いの(こもれびの会)でしか活動できない。日本の森林は60%もの面積となっており、全国的活動が必要でしょう。また、森林浴としての健康との関係も活動にすべきでしょう。東京都の場合は氷川にひのきのチップを撒いた道路もあります。	本施策の中の事業の一つである「もり・みず市民事業補助金」は津久井地域での活動も補助対象になっています。実際に津久井地域の私有林で活動している市民団体もございます。 【参考URL】 http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p486216.html 頂いたご意見については今後の参考にさせていただきます。	
4		杉林の沢をいのししが掘り、沢が荒れ崩落が発生、いのししの減少をお願いしたい。場所は相模原市緑区内北部旧津久井	イノシシの捕獲については、市町村が主体となって実施しているので、相模原市津久井地域経済課(042-780-1416)にご相談ください。また、イノシシを増やさない取組として、農地の作物がイノシシに食べられてしまうことで、結果として餌付けすることにならないように電気柵を設置するなどの地域で取り組む被害防除対策も大切であると考えております。	
5		この取組みは長期間を必要とすると思いますので、施策期間の延長も検討してください。(県民の理解のもと)	県では、20年間の長期的な取組全体を示す「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」のもとに、個人県民税の超過課税(水源環境保全税)を財源として、平成19年度から実行5か年計画に基づく特別対策事業を推進しております。施策大綱の終了時には、水源環境保全・再生の施策の目的に相応しい成果を得られるように引き続き取り組んでいきます。 頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	

第33回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	内容	回答	回答希望
6		施策を拡大していくことという説明であるが、丹沢再生に集中して効果を出す必要がある。箱根をこの税で取り組むのがよいのか？国立公園内でこれまでの様な施策ができるのか疑問。税の有効利用をした方がよい。	箱根山地等においてもシカの定着と生息密度の上昇が見られ、今後、シカの採食によって林床植生が衰退して水源の森林づくり事業等による森林整備の効果が十分発揮されないことが危惧されることから、今後の森林への影響を未然に防止するためのシカ対策に水源環境保全・再生施策として取り組むことは適切であると考えています。	
7		市広報に注目しております。	(回答希望なし)	
8		県の行政としてはやるべきことを然るべく行っている的理解。今後の施策としてはボランティアグループが杉柵の間伐を定期的に行う組織の助育成及びこれからグループに作業場所の仲介(例では山主との)整備をすることではあるまいか。	(回答希望なし)	
9		水源環境保全なのに木材生産に支出している関係がよくわからない。山梨県道志の森林についてももっと力を入れてほしい	(回答希望なし)	
10		良質な水源を維持していくには、継続的な森林整備が必要なことが分かりました。今後、国や県の予算が減っていくと思われるので、超過課税については、20年間で終わらせるのではなく、期間を延長し神奈川県の森林を守っていくべきではないでしょうか。	(回答希望なし)	
11		森林の整備で再成した緑により、シカが増加する悪循環があります。シカ対策を最優先にすべき時期に来ていると思います。シカ対策に当てる予算はどのように推移していますか？是非増やして箱根の早期対策につぎこんで頂きたいと思います。	水源林整備事業等と連携して実施するシカ捕獲など、県が主体となって行うシカの管理捕獲や、シカの生息状況・生息環境に関する調査に要するシカ対策関係の予算は平成28年度は約2億円で前年度とほぼ同じ水準です。平成29年度以降については、箱根山地においても、シカの定着と生息密度の上昇が見られることから、シカの生息状況の把握を行った上で、管理捕獲やモニタリング等、シカ管理の取組を実施してまいります。	
12		水道水が下流の堰で採られた水で供給されていることを知りびっくりしました。汚れた水が多く混って水質が悪化した水です。上流のダムのきれいな水を使えば良いと思います。水源林整備の効果が直接反映されます。	神奈川県内には、ダムのある上流域で取水しているところと、下流域で取水しているところがありますが、県内の取水施設は、人口の増加に伴う水需要の増大に対応して、少しでも多くの水を確保するため、県内平野部の降水が河川に流れ込んだ分も活用できるように、下流域に取水地点を設けて、上流域からの取水と下流域からの取水を合わせて、現在も水道水の安定供給を図っているものです。 なお、取水した水の水質如何に関わらず、水道事業者は、取水した水を、厳しい水質基準に適合するようにきれいに浄水してから、消費者に届けております。	
13	水関係	水源環境保全p8のコンクリートブロックによる護岸工事やむをえない施工かと思いますが川としての機能はどうなのでしょう。	コンクリートブロックによる護岸工事の結果、河川に生息する生物の生息域の減少や河川表流水と伏流水との間の浸透・湧出の遮断など、生態系や自然の水循環に影響を与えてきました。 なお、8ページと9ページの写真は、生態系に配慮した整備を行う前後の写真です。これまでのコンクリート構造の護岸を、瀬や淵をつくるなどの生態系に配慮した整備を行ったことにより、生き物がすめるような場所ができ、9ページの写真のような自然豊かな川になりました。	
14		ダムの下流域の対策に水源税を使うのは違和感がある。上流域に限定すべきではないか。	県民が普段使っている水道水の多くは、相模川や酒匂川の上流のダム湖から川を流れて下流の取水施設で取り込まれ、各家庭に届けられています。そのため、ダム上流域だけでなく水源保全地域全体で取組を進めていく必要があります。 ダム上流域における生活排水対策は、これまでの取組により一定の成果が得られている一方で、ダム下流域における生活排水が水源水質に影響を与えている現状があります。こうした状況を踏まえ、第3期計画からダム下流域にまで対象地域を拡げて生活排水対策に取り組むこととしました。	

第33回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	内容	回答	回答希望
15		水道水質の改善の取組としての合併浄化槽の推進についての話題が欲しかった。	(回答希望なし)	
16		水不足 神奈川県入っていないってすばらしいですネ。最近、宮ヶ瀬ダムや津久井湖に行ってきました。水について興味、関心をもってきました。	(回答希望なし)	
17		県民の意向の吸い上げ方の検討はされているのか。	「水源環境保全・再生かながわ県民会議」では、水源環境の現状や保全・再生施策の取組状況を周知するとともに、県民意見を幅広く収集することを目的に平成19年度から県民フォーラムを開催しております。県民フォーラムで収集した意見は取りまとめ、県に提出していただいております。県はそれらの意見を施策への反映等につなげております。なお、県民会議では、県民に対する情報提供や意見収集のあり方について、県民フォーラムに新たな手法を取り入れるなど、随時検討しております。 また、県では「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を策定する際には、県民フォーラムでの県民との意見交換や県民意見反映手続き(パブリックコメント)を実施するなど、幅広く県民意見の集約に取り組んでおります。	
18		豊田直之氏の活動大変ありがたい。写真で訴えるものは心に響く。	県民フォーラムに御参加いただきましてありがとうございました。 豊田氏の活躍されているフィールドは広いですが、今回は、フォーラムの趣旨に沿う形で視覚的に感じていただくということから、丹沢の水を選び写真展示をお願いしました。頂いたご意見はパネリストの豊田氏へもお伝えさせていただきます。	
19	県民参加	パネラーの豊田氏の取組に賛同します。私は朝ウォーキング中ペットボトルや空缶を拾いながら歩いている。生産者(企業)の回収義務を果たらと思う。スイス、ドイツではデポジットで回収リサイクルを行っている。学校教育も環境について徹底しているようです。	生産者(企業)の回収義務に関する検討については、国全体で進めていくことが望ましいため、容器包装リサイクル法の見直しに際し、一定割合以上のリターナブル容器の使用を義務付け、回収する仕組みの構築やデポジット制度の早期導入など、事業者による回収ルートの確立を図るよう国に要望しております。	
20		近所に小さな水源があり、ちいさな'水源の森公園'になっているのですが、あまり人を見ません。いつも気になっていて、ここを守る活動をしたいのですが以下の点を知りたいです。 Q1個人で保全のお手伝いをしたい場合、どこに問い合わせたらよいですか。 Q2ここを守る活動をしているボランティア、NPOがあるのかどうか知りたのですがどうしたらよいですか(ボランティアの連絡先や活動内容もわかるものを知りたい)ちなみに旭区の希望が丘の水源です。	本件につきましては、横浜市旭区役所に確認させていただきましたところ、「場所の特定が困難なため、横浜市旭土木事務所 下水道・公園係(電話:045-953-8801)までお問い合わせください。」との回答がありましたので、ご案内させていただきます。	
21		素人でも気軽に参加できる森林保全活動の情報をもっと知りたいです。横浜在住ですが、フィールドは県央や県西が多いと思いますので、活動プラスアルファの楽しみがあれば多少遠くても足が向くと思います。本日はありがとうございました。	(回答希望なし)	
22		水資源についてよくやってくれているのだな、890円は安いとおもった。県民にもっとこの活動の様子をPRしてもらいたいと思った。TVなどで県民のための報道をしてはどうでしょうか。キンビールの発言はやっぱりPR性があるとおもう。	(回答希望なし)	
23		相模原に林道を作る事を考えよう	(回答希望なし)	

第33回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	内容	回答	回答希望
24		日頃森林ボランティアで活動に参加していますが、その活動の意義をあらためて確認できました。これからも参加し、続けていきたいと思いました。	(回答希望なし)	
25	県民フォーラムの内容・運営	終了時間については、できるだけ定刻でお願いしたいと思いました。	(回答希望なし)	
26		大変勉強になるお話を伺うことができました。ありがとうございました。水源環境の保全・再生のためには市民団体の方々のご協力が不可欠であるように思います。個人的な感想となりますが、パネルディスカッションではもっと市民団体の方々のお話を伺うことができれば良かったと感じました。	(回答希望なし)	
27		有意義で素晴らしい取組です。もっと沢山の、特に若者達に知ってもらい、参加してもらおうよう考えてください。	(回答希望なし)	
28	その他	税金を使用した事業は一部の個人団体の利益になるような内容ではなく、県民全員、100年後の県民、国のためになるような事業にしてほしい。県民会議の先生は神奈川の大学にはいないのでしょうか。地域に根差した丹沢のことを長く深く知っている先生にお願いしてほしいです。	県では、20年間の長期的な取組全体を示す「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」のもとに、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を財源として、平成19年度から実行5か年計画に基づく特別対策事業を推進しております。森林によりもたらされる良質な水は県民全体が享受するものであり、将来にわたって県民が必要とする良質な水を安定的に確保するため、水源地域の私有林に対し、公的な管理や森林所有者が自ら行う森林整備の支援を進めています。「施策大綱」の終了時には、水源環境の保全・再生施策の目的に相応しい成果を得られるように引き続き取り組んでいきます。 また、県民会議の有識者については、神奈川県内の大学の先生はおりませんが、本県の水源環境の実情や本施策に深い知見を有する大学教授等に委員に就任していただいております。	
29		環境を考えようという集いにしては寒すぎました。ゴミ（大岡川）にはびっくり。企業の力は大きい！	県民フォーラム会場の温度設定につきましてはご不便をお掛けし大変申し訳ございませんでした。 今後の県民フォーラム運営においては、適切な温度管理に努めてまいります。 本日のフォーラムのパネルディスカッションにご登壇いただきましたキリン株式会社様は、森林再生パートナーとして、本県の水源地域の保全活動に取り組んでいただいております。 森林再生パートナー制度は、企業・団体からいただいた寄附を県が行う森林整備費用の一部として活用するとともに、森林再生パートナーとなった企業・団体は、県が管理する森林で間伐や自然観察などの活動を行うことができるほか、森林に名前をつけることができます（ネーミングライツ）。キリン様の他にも多くの企業・団体の皆様に森林再生パートナーとしてかながわの森林再生にご協力いただいております。 【参考URL】 http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p20736.html	
30		市街地の新築に対して崖地に建築許可があるのはいかがなものか、崖くずれの心配あり。	(回答希望なし)	